特集３

「スクールソーシャルワーカー（SSW）」ってどんな人？

Q スクールソーシャルワーカー（SSW）ってどんなことをするのですか？

「こどもサポートネット」において、子どもに関わる学校の“気づき”を出発点とし、そこであげられた課題（不登校、友人関係、行動等）に対して、SSWは福祉的なアプローチによって、子どもや家庭を取り巻く環境面に働きかけ、課題の改善を支援します。学校、関係機関等と連携して支援の方向性を提案し、こどもサポート推進員とともに福祉的な支援を実施できるよう活動します。

また、学校内での具体的な支援について教職員に助言を行います。

Q 不登校はどのような理由が多いですか？

今まで関わりのあった不登校では、小学校中学年頃にその兆候が見られることが多いように感じています。学習についていけない、友達の輪の中に入っていけない等が見受けられ、低学年ではそれらの変化を自覚しないで過ごすこともあるようですが、中学年頃から友達同士でグループができたりして、そこに入れずに疎外感を感じる子どもたちを見てきたこともあります。学習面についてもその頃から差が出始めてくるとも感じます。

不登校の理由は一つではなく、さまざまな要因が絡み合っています。

Q 多くの子どもや家庭に関わる中で、必要な支援についてどのように考えていますか。

子どもの基本的人権を尊重する「子どもの権利条約」というものがあります。４つの権利（生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利）がありますが、特に「参加する権利」に注視しながら支援を考えたいと思います。なぜなら、子ども自身が自分の考えや気持ちを発することができる環境が大切だからです。決して押し付けではなく、「主体は子ども」であるという考えです。

また小学校の低学年ではまだまだ自分の考えを出すことが難しい子どももいます。そういう場合は、子どもの代弁者になれるよう寄り添った支援を心掛けたいと思います。

トピックス

住之江区基礎学力アップ事業

住之江区では、大阪市習い事・塾代助成事業を活用し、民間塾事業者と連携した一部小学校及び中学校の教室等を活用した課外授業を実施しています！これまで中学生が対象となっていましたが、今年度から小学５・６年生にも拡大します。

ひとりひとりの習熟度に応じた学習指導を行います。集中して学べる環境が整っています。「勉強の仕方が分からない…」「学校の授業についていくのが大変…」という方もぜひご利用ください！

区内の中学生及び開設小学校の５・６年生であれば対象となり、受講につきましては大阪市習い事・塾代助成カードが使えます。詳しくは住之江区ホームページをご覧ください。

詳しくはこちら

問合せ　区保健福祉課（教育）　窓口③番　☎6682-9993